

# 令和6年度

## 全国学力・学習状況調査

調査結果の概要および改善の方向性について

### 【保護者用】



令和6年4月に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果をお知らせいたします。

- 今回実施された国語・数学に関して、全国平均の正答率と比較して、本校の概要を示しました。
- 調査教科の課題を指導内容と照らし合わせ改善の方向性を示しました。
- 生活習慣や学習環境に関する調査について、顕著な項目についてまとめました。

「全国学力・学習状況調査」の全国の結果については、国立教育研政策研究所のホームページをご覧ください。 URL <http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

札幌市立宮の森中学校

# 調査結果の概要および改善の方向性について

## 【中学国語】

### 本校の概要

#### 【学習指導要領の内容】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均の正答率を上回っている。
- 「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均の正答率を上回っている。
- 「我が国の言語文化に関する事項」については、全国平均の正答率を上回っている。
- 「話すこと・聞くこと」については、全国平均の正答率を上回っている。
- 「書くこと」については、全国平均の正答率を上回っている。
- 「読むこと」については、全国平均の正答率を上回っている。

### 今回の調査における課題

- 文脈に即して漢字を正しく書くことはできているが、文の成分の順序や照応や、表現の技法についての理解にやや課題がある。
- 具体と抽象などの関係について理解することはできているが、意見と根拠などの情報と情報との関係についての理解に課題がある。
- 必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことはできているが、話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることにやや課題がある。
- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることはできているが、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することについてはやや課題がある。
- 文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。

### 改善の方向性

- 短歌に用いられている表現の技法などを確認しながら指導する。
- 「原因と結果」、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの基本的な情報と情報との関係について理解し、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面で活用できるように指導する。
- 話合いの中で、話題を意識しながら経過を捉えて話したり聞いたりすることや、話合いの展開に応じて、互いの発言を結び付け、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめられるように指導する。
- 自分の考えが伝わる文章になるように、表現の効果を考えて描写を工夫して書けるように指導する。
- 図表や写真などを含む説明的な文章を読む際には、示されている図表などが、文章のどの部分と関連しているのかを確認するなどして、書き手の伝えたい内容をより正確に読み取ることが重要である。また、図表がある場合とない場合を比較し、考えたことを説明し合うことで、筆者が図表などを用いた意図を考えることができるように指導する。

分類	区分	全国との比較
評価の観点	知識・技能	上回っている
	思考・判断・表現	上回っている
	主体的に学習に取り組む態度	—
問題形式	選択式	上回っている
	短答式	上回っている
	記述式	上回っている



# 調査結果の概要および改善の方向性について

## 【中学数学】

### 本校の概要

#### 【学習指導要領の領域】

□「数と式」については、全国平均の正答率を上回っている。

□「図形」については、全国平均の正答率を上回っている。

□「関数」については、全国平均の正答率を上回っている。

□「データの活用」については、全国平均の正答率を上回っている。

### 今回の調査における課題

●連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表したり、統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

●回転移動について理解することはできているが、筋道を立てて考え、証明することについてはやや課題がある。

●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。

●複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

### 改善の方向性

○事柄が成り立つことの説明を振り返り、新たに成り立ちそうな事柄を予想する活動を取り入れながら指導する。

○ある事柄の条件を変えた場合について考察する場面では、証明を振り返り、証明に用いた前提や根拠を整理するなどして、図形の性質を論理的に考察し表現することができるように指導する。

○表、式、グラフなどを用いて問題解決する場面を設定し、それらの使い方について数学的に説明できるように指導する。また、解決の方法として表現が不十分な説明を取り上げて、問題解決の見通しを共有した場面などを振り返りながら、十分な説明ができるようにする。

○複数の集団のデータの分布に着目しその傾向を比較して読み取る活動や判断の理由を説明し合う活動を通して、判断の理由を箱ひげ図の箱の位置や四分位数などを根拠として説明できるように指導する。

分類	区分	全国との比較
評価の観点	知識・技能	上回っている
	思考・判断・表現	上回っている
	主体的に学習に取り組む態度	—
問題形式	選択式	上回っている
	短答式	上回っている
	記述式	上回っている



# 生活習慣や学習環境に関する調査について

## (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況

### ① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の取組を実施してきたが、今後は特に「自分の考えを発表する機会」を数多く設定しながら、間違いを恐れずに自分の考えを進んで発表できる生徒の育成や「批判的思考力」の育成に力を入れていきたい。

1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:81.5%** 全国:80.3%  
(昨年度 本校:83.7% 全国:75.2%)

1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行いましたか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:76.5%** 全国:75.4%  
(昨年度 本校:74.5% 全国:69.1%)

1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

➡肯定的な回答[発表していた・どちらかといえば、発表していた] **本校:72.8%** 全国:64.8%  
(昨年度 本校:71.5% 全国:62.1%)

### ② 個別最適な学び・協働的な学びに関する状況

ユニット学習や異学年交流を積極的に行うことを通して、生徒がそれぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換をして話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように工夫しながら学習活動を実施してきた。今後は更に、生徒一人一人に応じた学習課題の提示や活動の工夫、授業のユニバーサル化を進めていきたい。

1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:82.7%** 全国:80.9%  
(昨年度 本校:74.5% 全国:74.9%)

授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:95.0%** 全国:92.3%  
(令和6年度新設)

### ③ カリキュラム・マネジメントに関する取組状況

生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルのもとでカリキュラム・マネジメントに取り組んできた。今後は、各教科等の目標や内容の相互関連や、年間指導計画と学習評価の見える化をより充実させていきたい。

## (2) ICT を活用した学習状況

### ① ICT 機器活用の効力感

授業における ICT 機器活用頻度は、全国平均を大きく上回っている。ICT 機器が、友達と考えを共有したり比べたり、協力しながら学習を進めるために活用され、本校のユニット学習の効果を更に高めるための重要なツールとなっている。また、「分からないことがあった時に、すぐに調べることができる」と感じている生徒が大多数であることから、授業中におけるクローズドブックの使用が生徒の主体性に任されている効果と言える。今後は、「自分の考えや意見を分かりやすく伝えるためのツール」としての活用を充実化させていきたい。

□1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか。

➡肯定的な回答[ほぼ毎日・週3回以上] **本校:88.9%** 全国:64.0%

□1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて、以下のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

(1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:81.5%** 全国:80.2%

(2) 分からないことがあった時に、すぐ調べることができる

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:97.6%** 全国:93.9%

(3) 楽しみながら学習を進めることができる

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:85.2%** 全国:82.4%

(4) 画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかる

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:90.1%** 全国:89.0%

(5) 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:76.5%** 全国:77.7%

(6) 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:88.9%** 全国:86.2%

(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる

➡肯定的な回答[とてもそう思う・そう思う] **本校:88.9%** 全国:85.2%

### (3) 学習に対する興味・関心や授業の理解度

#### ①理科に関する状況

自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てることを大切にしながら取り組んできた。今後は、生徒が自ら理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりできるよう、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどの科学的に探究する学習活動の充実に力を入れていきたい。

理科の勉強は好きですか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:67.9%** 全国:68.3%  
(令和6年度新設)

自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがあります

か。  
➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:72.9%** 全国:70.7%  
(令和6年度新設)

理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。

➡肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:82.7%** 全国:71.5%  
(令和6年度新設)

#### ②英語に関する状況

スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動に加え、自分の考えや気持ちを英語で伝える活動に力を入れて取り組んできた。今後は、読んだり聞いたりした内容について、英語で問答したり、意見を述べ合ったりする統合的な言語活動の充実に力を入れていきたい。

**聞<**1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:95.1%** 全国:83.3%  
(昨年度 本校:70.4% 全国:78.2%)

**読む**1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:95.1%** 全国:85.6%  
(昨年度 本校:68.4% 全国:80.3%)

**書<**1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:95.1%** 全国:85.7%  
(昨年度 本校:69.4% 全国:82.8%)

**やり取り**1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝える活動が行われていたと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:91.3%** 全国:68.8%  
(昨年度 本校:58.2% 全国:63.8%)

**発表**1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。

➡肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:96.3%** 全国:82.4%  
(昨年度 本校:79.6% 全国:78.7%)

## (4) 生徒の挑戦心、自己有用感、幸福感等に関する状況

「自分にはよいところがあると思うか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか」「友達関係に満足しているか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」との問いに対して約90%の生徒が肯定的に回答している。今後も「一人一人が大切にされている」と実感できる学校づくりを目指し、課題探究的な学習や地域・社会・世界と繋がる授業づくりや、生徒の自治的な活動の推進により一層力を入れていきたい。

自分には、よいところがあると思いますか。

➔肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:86.4%** 全国:83.3%  
(昨年度 本校:88.8% 全国:80.0%)

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

➔肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:93.8%** 全国:90.4%  
(昨年度 本校:89.8% 全国:87.3%)

将来の夢や目標を持っていますか。

➔肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:64.2%** 全国:66.3%  
(昨年度 本校:71.5% 全国:66.3%)

学校に行くのは楽しいと思いますか。

➔肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:82.7%** 全国:83.8%  
(昨年度 本校:83.7% 全国:81.8%)

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

➔肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:74.0%** 全国:76.2%  
(昨年度 本校:83.6% 全国:77.6%)

友達関係に満足していますか。

➔肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:90.2%** 全国:90.1%  
(昨年度 本校:86.7% 全国:88.7%)

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

➔肯定的な回答[よくある・ときどきある] **本校:91.4%** 全国:89.8%  
(昨年度 本校:87.7% 全国:86.8%)

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

➔肯定的な回答[当てはまる・どちらかといえば、当てはまる] **本校:75.3%** 全国:76.1%  
(昨年度 本校:63.3% 全国:63.9%)

## (5) 生徒の生活習慣に関する状況

「朝食を毎日食べているか、毎日同じ時間に起きているか」との問いに対しては、全国平均と同程度の割合が肯定的に回答している。しかし、「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」との問いには、全国平均を大きく下回っている。

朝食を毎日食べていますか。

➔肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:92.6%** 全国:91.2%  
(昨年度 本校:82.6% 全国:91.2%)

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

➔肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:74.1%** 全国:80.7%  
(昨年度 本校:76.5% 全国:78.0%)

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

➔肯定的な回答[している・どちらかといえば、している] **本校:91.4%** 全国:92.5%  
(昨年度 本校:90.8% 全国:91.3%)